

及川 ひも遊びですか。むつかしいことですね。あ
へこべになると。

○

倉橋 「さびがら」が大したものでもないといふのは
つまり出来上つた物を見て「さびがら」を利用し
て作つたといふよりも「さびがら」で作つた感じ
が強くなる。紙でこさへたのも同じわけだけど
も紙はそれ程紙でこさへたといふ感じがな
い。紙にはなじんでゐるからね。

倉橋 「さびがら」で斯んな物、あんな物が出来ると
いふ感じがする。この頃の考へ方では材料を主
にしないからね。其處に一種の舊式な感じがする。
「さびがら」を種んな製作の中に利用する、と範
圍を擴めては如何ですか。「さびがら」で何をし
ませうとなると前の感が出るから。

堀 「さびがら細工」といふ程の價値はない。

及川 これをします時は手本なしです。

堀 それだけ製作はた易い。

倉橋 テーブルの脚などにはよい。

新庄 砂箱の中で汽車には使ひましたわ。

倉橋 この材料を本體とすると面白くない。これは
立體を利用すべきもの、つなげて平面にするの
は愚の骨頂。つまり木材として取り扱ふべきで
すね。

堀 牧場の柵に並べるのも何等立體の使ひ方では
ない。

「豆 細 工」

及川 此處では豆細工だの摺紙は致しません。

新庄 しないから云ふ事もありませぬわ。

倉橋 今でも摺紙は昔の型通り以上出ませんか。

堀 豆細工や摺紙を何故やらないか云ひなさいよ

及川 豆細工はむづかしくつて。

堀 豆の處理はむづかしい？適當にふやかして？

及川 それは何でもないのですけれど

新庄 こさへたものが外れますの。

堀 「さびがら」ならずれても直せるけれども、これは何度もつかさせないからね。こゝでは何時頃までやつてゐたの？

及川 新庄さんのいらした時は？

新庄 さうね二度ばかり見たような気がしますわ
及川 先生(倉橋)から豆細工はしないようにと御命令があつた時からしないのでせう。

倉橋 ムツソリニの命令か？

及川 大正五年の行啓の時は致しましたけれどその後いつやめましたか、以前には土曜日にはきまつてしました。

倉橋 ムツソリニ考ふるに、昔は、材料を主にし
てこれで何が出来るかに重きを置いたが、この頃では作るものを主にして、これには何の材料を使へばいいか、箱ならば箱は四角いものと考

へるのではなくて、壁に依つて囲まれてゐる、使ひ方から見ると中に入れ得るものと考へるようになつてゐる。その箱を「豆細工」でやると――

及川 随分ヘンなものですね。

倉橋 フレーベルは簡單なる幾何學のラインから立體を作つて行くのにこれを始めたが

堀 それで分つた。線を立體につなぎ合はせてゐるだけで、それを越ると幼児にはむづかしいと考へたのだね。さつきの人は。

倉橋 左う考へたのなら程度は高い。

堀 紙二つ折にした屏風は線のつなぎ合せを越えてゐるからいけないね。

倉橋 それは立體と實物を區別して考へてゐるね。吾々では立體即實物だがね。豆細工は線の論理主義からと、子供は想像が旺だから線だけで壁を假想出来る、それで豆細工が想像を働かす機

會を與へて同時に子供は想像する事に愉快があると、この二つの立場を考へてゐた。物の大事な事を抜いてしまつてゐる。箱を作るにはいびつでも、箱か袋かあいまいでも、それは關はない。要件は壁で圍まれてゐるといふ事。

今教育的に考へていくと、豆にヒゴをさす時に注意力を養ふし、こわれ易いものを扱ふ爲に丁寧にもなる、そして箱の要素である四角い形も出来る。けれども、箱を作りたい者には好んであんな事をするに及ばぬといふ時代になつてゐる。

及川 豆細工のし始めは梯子で、それからせいろ、椅子でしたわ。先生が一齊に教へました。複雑な飛行機などこしらへるとなると豆一つでは支へられなくなりませう。

堀 フレーベルは結晶學者だからね。それで立體を幼児につくらせるのは程度が高いからと成る

べくやらせないといふ歴史はよく分つたよ。つまり倉橋君の説を誤解してゐるのだ。

倉橋 椅子は腰掛るもの、その上に乗つかるのが要素だから乗られる面がなくつちや。この面だけはたとへて椅子の脚のないことがあつても、なくちやならない。豆で脚をつけて紙で腰掛け面をつけてでもよいから。

堀 豆細工で屏風をこしらへる人は……

倉橋 「この屏風で向ふは見えない筈よ」つていふ。

及川 經字屋さんの子なら分りますよ。

堀 その屏風の縁へ紙を張ることは出来ないといふんだ。

及川 紙など張りませんでしたよ。

堀 國旗には紙を使ひませぬ。

及川 あれは紙を張るのではなくて、旗は旗でこしらへてつけました。

倉橋 旗に、紙、タマに豆を使ふのはよいね。ヒゴ

堀 細工でなくつちやといふのは鳥籠か虫籠でせう
堀 籠なら一層のこと「きびがら」で作るがよ
す。

及川 昔は豆細工を幼稚園の仕事の中で一番楽しみ
にして居りました。

新庄 さう〜。

倉橋 私は此の學校へ來た當時、ヒゴつていふのが
分らなかつてね、ヒゴですか、フイゴですかつ
てききましたよ。

及川 ヒゴは會計の方でも時々分らなくて何處に賣
つてゐるかつて尋ねに來るときもありました。

倉橋 あれは何ですか。

及川 提灯につかひます。

新庄 提灯こさへたらいいわね。

堀 日本獨得の物だね。

倉橋 果物の籠などもこれで出来るね。

堀 繊細な物だ。

○
倉橋 豆細工は立體だの平面だの概念があつて出來
るもの

堀 立體と云へば線と點とから成つてゐると思ふ
ので實體にならぬ場合がある

倉橋 吾々の製作は實體を目的とするものであるか
ら、抽象の線と點から成る立體とはならない。

「摺紙」

倉橋 僕がこれに反對する所以は、何寸四方の紙一
枚で、他の材料や道具を一切使はないのをよし
としてゐる。製作とは材料や道具を使つて目的
の物をこしらへ上ることなんでせう。然るに材
料や道具を限定してしまつてなほ、いろんな物
がこしらへられるといふのが主眼になつてゐる
でせう。摺紙にはのりも使へない、使へば下手、
鉄を使はずにかつきり折る所にコツがある。技